

# 24 石川県はくさん白山市

設定区域 つるぎ 鶴来地区

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

## 1 地域の特徴

白山市では、沿岸部から山間地域までの広い地域的条件を活かし、稲作を中心とした多様な農林水産業が営まれ、良質な生産物が産出されています。鶴来地区では水稲で有機農業に取り組むほか、化学肥料・化学農薬の使用を減らした環境負荷低減の取組も行われ、有機農業の産地化の中心を担う地区です。



学校給食での有機栽培米の提供



白山市

## 2 地域の課題

農家の減少や高齢化のほか、農産物価格の低下や生産資材価格の高騰などの環境の変化に対応するため、スマート技術等の導入や地域での農産物の利用拡大を推進していく必要があります。

## 3 特定区域が目指す姿

スマート技術や有機質資材を活用し有機農業を推進するとともに、地域での有機農産物の利用拡大を図ることで、生産者の所得向上と担い手を確保し、有機農業の産地化を目指します。

## 4 生産者の取組の支援

- ① J A 白山有機米栽培プロジェクトにより、生産者・J A・市民団体が一体となり、有機栽培米の栽培体験をはじめとした、グリーンな栽培体系の確立や食育等に取り組んでいます。
- ② 学校給食に有機食材を活用するなど、食育・PR活動を通じて地域の食や農業への関心を高め、有機農業の産地化を目指します。



小学生による有機栽培米の栽培体験

## 5 生産者の取組紹介

- ・ 水田除草機等による作業効率改善や有機質資材の活用による有機農業を推進します。
- ・ J A 直売所にて有機栽培米の販売スペースを設置し、消費者への環境保全型農業への周知と理解促進を図っています。
- ・ 特定区域に設定されたことで、地域ぐるみで推進しやすい環境になり、今後も有機栽培米の取り組みを推進していきます。



水田除草機での作業の様子

## 6 問い合わせ先

石川県農林水産部生産振興課 TEL:076- 225-1622  
白山市産業部農業振興課 TEL:076- 274-9540

# 25 福井県越前市

設定区域 全域

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

## 1 地域の特徴

越前市は、耕地面積が県全体の1割程度でありながら、有機JAS認証農産物と化学肥料・農薬の使用を低減した特別栽培農産物の作付面積は県全体の3割、有機JAS水稲作付面積は、県全体の5割を超えるなど、コウノトリをシンボルとした多様な生き物を育む環境調和型農業の先進地です。



コウノトリ



越前市

## 2 地域の課題

農家の高齢化による担い手不足、耕作放棄地の拡大が深刻化しており、地域で有機農業を推進する上での課題となっています。

## 3 特定区域が目指す姿

先進的に有機農業に取り組む法人の栽培技術をマニュアル化、さらにスマート農業を導入することで、技術の横展開や作業の効率化を進め、新たな有機農業者の育成、有機農業の規模拡大を目指しています。

## 4 生産者の取組への支援

- ① 有機農業の新規取組者に対し、実証ほにおいて先進的に有機農業に取り組む法人による技術指導を行い、掛かり増し経費を支援しました。
- ② 収量と食味値の双方が高くなる追肥適期を判断するべく、生育ステージの画像診断のためのデータ収集を進めています。
- ③ マーケットが大きい県外の特定の地域において、市場調査や試験販売を実施しながら販路を開拓し、販売促進に繋がります。



①技術指導



②生育調査



③軽井沢での試験販売

## 5 生産者の取組紹介

大屋ファクト株式会社では、有機農業産地づくり推進事業を活用し、有機栽培のノウハウを市内の先進有機農業法人から学び、面積拡大を行いました。また、横断幕による取組PRと消費者の理解醸成を図りました。



大屋ファクト株式会社のほ場

## 6 問い合わせ先

福井県農林水産部流通販売課 TEL:0776-20-0419  
越前市役所環境農林部農政課 TEL:0778-22-3009

26 岐阜県白川町

しらかわちょう

設定区域 全域

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

白川町は岐阜県の中南部に位置し、町域の87%を山林が占める中山間地域です。急峻な山々から流れる清流の恵みを受け、水稻、夏秋トマトや銘茶白川茶を栽培しています。

令和5年にはオーガニックビレッジ宣言を行い、有機農業の推進を加速化しています。



白川茶の茶園



白川町

2 地域の課題

消滅可能自治体の調査報告に掲載されるなど、人口減少が顕著であり、特に農業の担い手確保が課題です。また、有機農業の栽培技術の蓄積・継承や多様な担い手の受け入れ体制の構築も課題となっています。

3 特定区域が目指す姿

中核的農業の担い手である集落営農組織と同様に有機農業者を地域農業の担い手として位置づけ、町全域で持続可能な農業農村を目指し、農地の有効活用と荒廃農地の防止に努めます。

4 生産者の取組の支援

- ① 新規就農者に対して有機農業の技術勉強会を行い、有機農業者の増加と面積の拡大を目指します。
- ② 地産地消と町内の有機農業への理解を深める為、町内外への情報発信、学校給食への有機農産物の活用を支援するとともに、販売拡大に向け新商品の開発や共同出荷の流通システム構築に取り組めます。
- ③ 中核的農業の担い手である集落営農組織の環境負荷低減の取組を推進する為、スマート農業技術の導入等により省力化、高品質化、作業の平準化を図ります。



各種イベントに出展し活動をPR

5 生産者の取組紹介

ONPO法人ゆうきハートネット

平成10年に10名の農業者が、有機農業の生産技術の研さんを目的として設立し、現在44名の会員が加入しています。

木曾川水系の水源地域として、環境負荷低減農法の推進を中心に農業技術の伝承や生産者と消費者をつなぐ交流事業、食育や環境保全活動に取り組んでいます。



小学校での農業体験学習を支援

6 問い合わせ先

岐阜県農政部農産園芸課 TEL: 058-272-8415  
白川町役場農林課農務係 TEL: 0574-72-1311

# 27 愛知県おかざき岡崎市

設定区域 オクオカ地域

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

## 1 地域の特徴

岡崎市は、乙川、男川、青木川という清流が流れ、豊富な水と肥沃な大地に恵まれており、水稻や露地野菜などの土地利用型農業が中心に行われています。

有機農業については、ブランド化されている茶をはじめとして、稲や野菜、果樹などの品目についても取組が広まりつつあります。



オクオカ地域(※)の風景



岡崎市

※岡崎市では、訪れた人が落ち着いた時間を過ごせる“岡崎の奥座敷”という意味を込め、中山間地域を「オクオカ」と呼んでいます。

## 2 地域の課題

市の水道用水の約半分（20万人の使用相当）を取水する大切な水源地域であるオクオカを守り、農家の高齢化による担い手不足、荒廃農地の拡大といった課題に対応します。

## 3 特定区域が目指す姿

「岡崎の水」を守るために行うオクオカの有機農業をブランド化し、地域一体となって、有機農業の生産技術の確立や技術の普及、学校給食への導入、企業と連携した有機農産物の消費促進を行います。

## 4 生産者の取組の支援

- ① 有機農業の栽培技術の蓄積及び継承を積極的に行い、新たな有機農業者の増加、産地の維持・活性化を図ります。
- ② 地域内で生産された有機農産物の消費拡大を図るため、学校や企業等と連携し、地域内流通の構築や6次産業化等を推進します。
- ③ 都市部から農村部への人の流れを促進するため、半農半Xの推進を重点的に行い、持続的に有機農業を実践する農業者の担い手確保に取り組めます。



有機農業塾での栽培技術普及

## 5 生産者の取組紹介

○岡崎市ぬかたブランド協議会 有機農業部会

令和5年8月、地域の農林水産物のブランド化を推進する団体内に「有機農業部会」を設立しました。

地域内での有機農業の推進や有機農産物の学校給食への導入に取り組むほか、「みえるらべる」を取得した農産物をイベントで展示・販売することにより、環境負荷低減の取組PRを実施しています。



定例の有機農業部会会議

## 6 問い合わせ先

愛知県農業水産局農政部農業経営課

TEL: 052-954-6411

岡崎市役所中山間政策課

TEL: 0564-82-4123

# 28 兵庫県神戸市

設定区域 「人と自然との共生ゾーン」

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

## 1 地域の特徴

神戸市では西北神に広がる里山農村地域で、生産地と消費地が近い利点を活かした都市近郊農業が盛んに行われています。

豊かな農業・農村地域を守るため、条例（人と自然との共生ゾーンの指定等に関する条例）で「人と自然との共生ゾーン」を指定し、農業の振興、農村の活性化・魅力化及び市民相互のふれあいを進めています。



農村地域の写真



神戸市

## 2 地域の課題

里山やため池など美しい農村景観に恵まれています。農家人口の減少や高齢化が進み、耕作放棄地が増加するなど、農村環境の維持が困難になりつつあります。

## 3 特定区域が目指す姿

里山の豊かな自然の恵みを楽しみ、次世代に残していくために、地域資源循環・環境保全に資する「こうべ里山SDGs農業」を推進します。

## 4 推進する生産者の取組

肥料原料の国産化に対応するため、市内家畜糞尿由来の堆肥や、下水処理の過程で回収したリン（こうべ再生リン）を配合した肥料である「こうべハーベスト」等の先進的な技術を活用し、有機・特別栽培などの地域資源循環型・環境保全型農業を推進します。



<https://kouhoushi.city.kobe.lg.jp/202211-todo-600/>

## 5 生産者の取組紹介

### JA兵庫六甲こうべ旬菜部会

化学肥料・農薬の使用量を減らした栽培方法を積極的に取り入れ、地域の環境に配慮した農業に取り組んでいます。18品目の新鮮な野菜を市場や量販店に販売しているほか、学校給食にも提供されており、地域の資源を利用した環境にやさしい農産物（BE KOBE農産物）にも登録されています。



こうべ旬菜シンボルマーク JA兵庫六甲こうべ旬菜部会  
「菜菜（なな）ちゃん」 ホームページ



BE KOBE農産物ホームページ



BE KOBE農産物ロゴマーク

## 6 問い合わせ先

兵庫県農林水産部総合農政課 TEL:078-362-9193  
神戸市経済観光局農水産課 TEL:078-984-0379

# 29 兵庫県豊岡市

設定区域 全域

有機

温室効果  
ガス削減

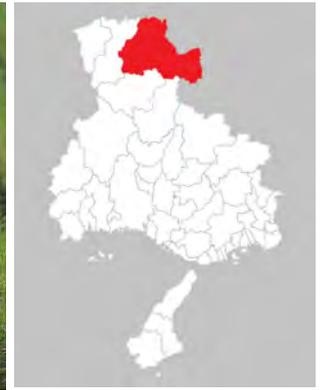
先端技術

## 1 地域の特徴

豊岡市は「コウノトリも住める豊かな環境（自然環境と文化環境）は、人間にとっても持続可能で健康的に暮らせる素晴らしい環境であるに違いない」と考え、平成15年から農薬や化学肥料に頼らず、多様な生きものを同時に育む稲作技術として「コウノトリ育む農法」の取組を開始し、市内全域で取組面積の拡大を推進しています。



コウノトリ



豊岡市

## 2 地域の課題

生産者の高齢化が進んでおり、新規取組者の確保及び機械導入による省力化・省人化が必要です。また、生産者が計画的な生産を行えるよう、公共調達を含めた安定的な販路の確保が必要です。

## 3 特定区域が目指す姿

スマート農業技術の導入等による農業生産の省力化を推進し、「コウノトリ育む農法」の取組拡大（特に無農薬栽培タイプ）を市内全域で目指すとともに、販売促進活動に取り組みます。

## 4 推進する生産者の取組

- ① 「コウノトリ育む農法」の普及、技術伝承等を通じた有機農業の面的拡大（団地化）を推進します。
- ② スマート農業技術の導入等による農業生産の省力化、高品質化、作業の平準化を推進します。
- ③ 有機農産物の学校給食への提供、関連事業者等と連携した販路の拡大を推進します。



学校給食での提供の様子

## 5 生産者の取組紹介

### コウノトリ育むお米生産部会

農薬の使用を制限するなど環境に配慮し、コウノトリの野生復帰を支える「コウノトリ育む農法」で水稻を栽培しています。

無農薬栽培の生産面積拡大を目指しています。

部会員252人 無農薬栽培面積 225.9ha



## 6 問い合わせ先

兵庫県農林水産部総合農政課 TEL:078-362-9193  
豊岡市役所農林水産課 TEL:0796-23-1127

# 30 兵庫県養父市

設定区域 おおや高原

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

## 1 地域の特徴

県下最高峰の氷ノ山など山々から流れる清らかな水、但馬牛のふんから製造する良質な堆肥、地域資源を活用した土づくりを中心とした農業が盛んな養父市。中でもおおや高原は、平成初期に葉物野菜の有機栽培をはじめ、以降、「おおや高原有機野菜部会」として構成員全員が有機JAS認証を取得し、事業継承しながら受け継がれてます。



おおや高原上空写真



養父市

## 2 地域の課題

中山間地域に位置する本市は農家の高齢化による担い手不足、耕作放棄地の拡大が深刻化しています。また、農地区画が狭小なため、営農の大規模化が困難であり、農業者の収益の向上が課題です。

## 3 特定区域が目指す姿

有機農業の技術継承を積極的に行うことで新たな有機農業者の増加、産地の維持・活性化を図るとともに、有機農業等の実践による農産物生産の高付加価値化で儲かる農業を目指します。

## 4 推進する生産者の取組

- ① 県と連携して新技術の研修や実証
- ② スマート農業技術の導入等による農業生産の省力化、高品質化、作業の平準化の推進
- ③ 技術継承のための研修カリキュラムの作成
- ④ 共同集出荷システムの活用による出荷作業の効率化と流通拡大の推進



→  
新技術の研修会

←  
大屋野菜集出荷場



## 5 生産者の取組紹介

おおや高原有機野菜部会（構成員9名）

高原という冷涼な立地を活かし、ほうれん草など葉物野菜の長期間栽培に取り組んでいますが、近年の猛暑で育成が難しくなっているため、育成予測システムの実証等、県と連携して収穫量の拡大を目指しています。また、収穫機の導入、共同集出荷場の機械更新と作業動線の見直しなどを行い、作業の効率化と販売拡大を図っています。



## 6 問い合わせ先

兵庫県農林水産部総合農政課 TEL:078-362-9193  
養父市役所農林振興課 TEL:079-664-0284

# 31 兵庫県丹波市

設定区域 全域

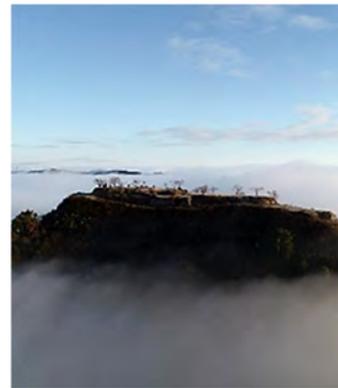
有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

## 1 地域の特徴

丹波市は南北に縦断する低地帯「氷上回廊」と山々が織りなす特徴的な地形が、豊かな自然や文化、歴史を育てており、小規模な農業経営体を中心に、水稻主体の土地利用型農業が展開されています。1975年から続く有機農業や伝統農業の技術継承と社会との調和を目指しています。



「丹波霧」



丹波市

## 2 地域の課題

農家戸数の減少や農業者の高齢化が進行する中で、地域農業を支える担い手の確保と、農業者が生産した農産物の流通・消費に取り組む支え手の確保が課題です。

## 3 特定区域が目指す姿

生産者だけでなく広く市民や企業がそれぞれの立場で参画し、手を取り合いながら生産から消費まで一貫して取り組むことで、『有機の里』として市全域での有機農業の産地化を目指します。

## 4 推進する生産者の取組

- ① 市島有機センターを核とした家畜由来堆肥の製造・供給による有機農業の面的拡大（団地化）を推進します。
- ② 先進農家と新規就農者・転換農家が一体となって産地全体で取り組む里山の資源・資本を活かした有機農業を推進します。
- ③ スマート農業機械等の先端的技術を活用した化学肥料・化学農薬の使用量低減の取組を推進します。



堆肥「市島ユーク」



アイガモロボの活用



栽培技術研修の開催



## 5 生産者の取組紹介

### 丹波市有機農業研究会

次世代により良い未来を手渡し、健全な食、豊かな自然、しっかりとした生活文化を残していくために、幅広く連携・協力するネットワーク組織として、安定生産・安定供給ができる農業生産方法や部会体制など、日々、研究と普及活動を行っています。



お米のことを  
いちばんに考えました

## 6 問い合わせ先

兵庫県農林水産部総合農政課 TEL:078-362-9193  
丹波市産業経済部農林振興課 TEL:0795-88-5028

## 32 奈良県天理市

設定区域 こうげん 高原地区 ( ながたきちょう 長滝町・ ふくすみちょう 福住町・ やまだちょう 山田町 )

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

### 1 地域の特徴

天理市高原地区は、奈良県北東部にある標高400～500mの大和高原地域に位置する中山間地域です。冷涼な気候を活かした大和茶の産地でしたが、担い手の高齢化や後継者不足が進んでいます。農業者と地域住民が一体となって、放棄茶畑を活用したオーガニックのお茶づくりに取り組み、令和6年3月にはオーガニックビレッジ宣言を行いました。



高原地区の茶畑



天理市

### 2 地域の課題

以前は茶の生産が盛んでしたが、現在では担い手不足により放棄茶畑が点在している状況です。放棄茶畑を長期間化学農薬・化学肥料を使用していない有機農業に適した茶畑であると捉え、取組を開始しました。

### 3 特定区域が目指す姿

国内外のオーガニックのお茶に対する需要の高まりを踏まえ、放棄茶畑を活用した新たなオーガニックのお茶づくりに取り組むことで、有機農業による付加価値の高い農産物生産の推進を図ります。

### 4 生産者の取組の支援

- ① 放棄茶畑の再生による「三年晩茶」の栽培を推進し、茶の栽培面積の拡大、生産者の増加を図ります。
- ② 地域の耕作放棄地等で茶にブレンドする作物（トウモロコシ、黒豆、ハーブ等）などの有機栽培に必要な土壌診断や堆肥診断の実施を支援します。
- ③ 有機農業の特徴・知識の普及啓発を行うワークショップを開催します。



土壌分析の専門家を招いたワークショップ

### 5 生産者の取組紹介

地域農家13人で設立した福住地域営農組合は、耕作放棄地等において、土壌診断などを行うことで科学的に成功しやすい有機農業を目指し、大和ルージュやサツマイモ、味まるみ大根などを栽培し年々面積を拡大。

今後もさらなる面積拡大を目指すと同時に、規格外有機栽培農産物を活用したスープなどの加工品の開発を行い、有機農業の普及拡大に努めています。



### 6 問い合わせ先

天理市総合政策課

TEL:0743-63-1001

奈良県食農部農業水産振興課

TEL:0742-27-7442

# 33 奈良県宇陀市

設定区域

おおうだ はいばら  
大字陀・榛原地区

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

## 1 地域の特徴

宇陀市は奈良県東部の大和高原地域に位置し、夏季冷涼な気候に恵まれること等から、施設野菜を中心とした有機農業が盛んな地域です。大字陀・榛原地区を中心に有機JAS認証を取得した経営体が所在しており、有機農業産地づくりの中心的役割を果たしています。

令和4年12月、全国に先駆けてオーガニックビレッジ宣言を行いました。



宇陀市

## 2 地域の課題

有機農業を推進していくために、規格外農産物の活用によるロス低減や、生産性の向上、畜産堆肥等未利用有機質資材の活用による循環型農業の実践、販売先の確保、担い手の確保・育成が課題です。

## 3 特定区域が目指す姿

担い手の確保・育成に取り組み、生産性を向上するとともに、学校給食やイベント等での食育・消費PR活動を通して、地域の食や農業への関心を高め、有機農産物の消費拡大を図ります。

## 4 生産者の取組の支援

- ① 有機農業の新規就農者への研修会の開催や市内畜産堆肥による有機資材の提供を行い有機農業者の増加を図ります。
- ② 規格外品を活用した加工品開発、長期鮮度保持の実践などを通して、生産・流通・消費の各工程でのフードロスを削減します。
- ③ 学校給食等での食育・PR活動、イベントやHPでの情報発信を行うなど、有機農産物の消費拡大を図ります。



展示会でのPR活動

## 5 生産者の取組紹介

有限会社山口農園（有機農業）

- ・栽培品目：ほうれんそう、こまつな、しろな等
- ・取組規模：4.46ha（ハウス168棟）

新規就農希望者への有機栽培技術研修、規格外農産物を活用した加工品の開発などを通じて、有機農業の普及拡大に努めています。令和5年12月、全国初となる特定みどり認定を受けました。



## 6 問い合わせ先

宇陀市農林課

TEL:0745-82-3679

奈良県食農部農業水産振興課

TEL:0742-27-7442

34 <sup>はま</sup> <sup>だ</sup> 島根県浜田市

設定区域 全域

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

浜田市は、島根県西部の日本海を望む位置にあり大部分が丘陵地や山地であるため、まとまった平地は少ないが、豊かな自然を有しています。有機JAS認証の認定農業者数は県内トップにあり、施設での軟弱野菜の有機栽培が盛んです。令和5年にはオーガニックビレッジ宣言を行い、地域ぐるみで有機農業を推進しています。



水稲耕作の様子



浜田市

2 地域の課題

高齢化による農家の減少・遊休農地の増加が課題です。

また、有機米の収量増・安定に向けた栽培体系の確立も課題となっています。

3 特定区域が目指す姿

有機米や有機野菜の栽培実証や有機給食の実進を進め、「いかしあうつながり（有機的な関係性）によって浜田市の大地と海、風土をはぐくみ続けるまち」を目指します。

4 生産者の取組の支援

- ① 企業等と連携し、自動抑草ロボット「アイガモロボ」やNPO法人 民間稲作研究所の省力・低コスト稲作の生産技術の導入・普及を行います。
- ② 有機生産者がもみ殻燻炭を土壌改良資材として活用し、J-クレジット制度を活用できるような仕組みを作ります。
- ③ 生き物調査などを通じて、市民が農業に関わる機会を作り、生物多様性保全等の環境に優しい農業への意識醸成を図ります。また、生物多様性を「みえる化」することで農産物の付加価値向上につなげます。



生き物調査の様子

5 生産者の取組紹介

株式会社 小松ファーム

もみ殻燻炭を農地に施用した有機ニンジンを生産しています。「みえるらべる」を取得し、環境に優しい農業に取り組みます。また、子どもたちの環境教育の一環としてCO2削減給食、「みえるらべる」給食の食材を提供します。



6 問い合わせ先

島根県農林水産部産地支援課 TEL: 0852-22-6704  
浜田市役所農林業支援センター TEL: 0855-22-3500

# 35 島根県江津市

設定区域 全域

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

## 1 地域の特徴

江津市は島根県の中央部に位置し、中山間地が面積の約8割を占めています。市では、付加価値の高い少量多品目栽培や希少性のある作物の栽培に力を入れ、有機農業にも取り組んでいます。

令和6年には、オーガニックビレッジ宣言を行っています。



江津市の野菜栽培の様子

江津市

## 2 地域の課題

農業者が高齢化している中で、中山間地域での農作業の負担が大きく生産性の低下が懸念されるため、有機農業による付加価値の向上や機械導入による省力化を図っていきます。

## 3 特定区域が目指す姿

「産業としての有機農業」と「暮らしの一部としての有機農業」を両輪に、生産者、流通・販売者及び消費者等が連携して江津市から「オーガニックな暮らし」を発信していくことを目指します。

## 4 生産者の取組の支援

- ① 学校給食用米の全量有機米と、畑作物における有機農産物の導入拡大を目指します。
- ② 生産団地内に各種実証圃場を設置し、県やJAと連携した栽培技術研修等を実施し、栽培技術とノウハウの共有を図ります。
- ③ 市内飲食店と連携した食イベントを継続しながら有機農産物の生産状況の見える化に取り組めます。



除草機械を用いた有機水稻栽培実証

## 5 生産者の取組紹介

- ・江津市では、有機米の栽培を行う生産者が、お互いのほ場に出向き、栽培管理の視点や具体的管理方法について意見交換を行うことで、栽培管理におけるリスクに対する対応等を学ぶ勉強会を開催しています。



## 6 問い合わせ先

島根県農林水産部産地支援課  
江津市役所農林水産課

TEL: 0852-22-6704  
TEL: 0855-52-7493

# 36 島根県美郷町

設定区域 全域

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

## 1 地域の特徴

美郷町は島根県のほぼ中央に位置し、その南北を中国地方最大の「江の川」が貫流し、緑豊かな山々に囲まれ、四季折々の美しい姿が見られます。ニューノーマルや脱炭素化など未来の社会を見据え、新エネルギー活用・CO<sub>2</sub>排出削減などに積極的・先進的に取り組み、2021年には「ゼロカーボンシティ先進地」を宣言しました。



田之原展望台から望む江の川



美郷町

## 2 地域の課題

当該地域では、基幹的農業従事者数の長期減少傾向に歯止めがかからず、農業の担い手不足や耕作放棄地の増加が年々深刻になってきています。

## 3 特定区域が目指す姿

ソーラーシェアリングを核にして、再生可能エネルギーを最大限活用した『魅力ある農業』を確立し、その取組に共感する人材を呼び込み、担い手として育成することで地域の農業の活性化を図ります。

## 4 推進する生産者の取組

- ① 営農型太陽光発電により発電した電力を施設園芸用ハウスに供給する脱炭素型の施設園芸栽培を、町営リース方式を中心に推進します。
- ② ①と併せて行う、発電した電力を農業機械やバッテリー交換型の電動草刈機などの農業用機械の動力として活用する取組を推進します。
- ③ 上記の取組で生産した農産物を「脱炭素農産物」としてのブランド化を目指しつつ、収益性の向上を図る販売方式の共通化の取組を推進します。



令和6年度中に農業研修施設が完成  
上記は研修施設内の太陽光発電設備  
複数名が研修(移住)予定

## 5 生産者の取組紹介

農業特化型三セク法人が町をはじめとする関係機関との連携によって研修生の指導を行い、新たな人材の学びや育成の場として、将来にわたる町の農業の担い手を支援します。また、電動農機具の試験的な運用や実作業での活用を検討しています。将来は、「農機具シェアリング」や「農作業の分業化(作業受託)」など農業支援サービス事業体としての体制構築を目指しています。



ほ場でのラジコン除草機のデモの様子

## 6 問い合わせ先

島根県農林水産部産地支援課  
美郷町役場産業振興課  
ゼロカーボン農業モデル推進室

TEL:0852-22-6704

TEL:0855-75-1214

# 37 島根県津和野町

設定区域 すかわ 須川地区

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

## 1 地域の特徴

津和野町は島根県の西端にあり、豊かな森林やダムのない日本唯一の一級河川・高津川等の自然にも恵まれており、生産されるわさびや山菜、栗、サトイモ等の農産物は高い評価を得ています。

また、「第2期まち・ひと・しごと創生津和野町総合戦略」においても有機農業を推奨しています。



須川地区の農地の様子



津和野町

## 2 地域の課題

有機農業を拡大するにあたり、耕作放棄地の更なる活用やUIターンでの新規就農者の受け入れ態勢整備が必要になっています。

## 3 特定区域が目指す姿

職業としての農業の魅力を高め担い手を確保するために「有機農業」を推奨し、環境への配慮や農作物の安全・安心に重きを置きながら、持続可能な農業経営の実践を目指しています。

## 4 生産者の取組の支援

- ① 生産者が活用できるように牛ふん・竹チップ等の地域資源を用いた堆肥製造と土づくりの実践を行います。
- ② 有機農産物の地産地消による地域内循環の確立を目指し、地元農産物直売所の売り場を確保し、また、マルシェを開催します。
- ③ UIターンでの新規就農者を積極的に呼び込むための受け入れ態勢を整備します。



農業体験などを通じて消費者理解を広める取組

## 5 生産者の取組紹介

須川地区では、足踏み温床（枯草が有機分解する際に出る発酵熱を利用した発熱施設）により育苗を行い、有機農業など環境負荷をなるべく減らす栽培方法を実践しています。



## 6 問い合わせ先

島根県農林水産部産地支援課  
津和町役場農林課

TEL: 0852-22-6704  
TEL: 0856-72-0653

# 38 広島県神石高原町

設定区域 神石地区

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

## 1 地域の特徴

神石高原町は標高500m～700mに位置する町であり、昼夜の寒暖差により良質な米や野菜が生産されており、神石牛をはじめ、トマト、ぶどう、こんにゃくの産地となっています。

神石地区では有機栽培のほ場が多く、有機農業の産地育成に取り組んでいます。



有機水田が広がる  
神石地区



神石高原町

## 2 地域の課題

農業従事者の高齢化や新規就農者の育成が厳しく、耕作放棄地の増加や担い手不足等の多くの課題だけでなく、中山間地域での農業生産の維持が課題となっています。

## 3 特定区域が目指す姿

農研機構との連携や交付金の活用などを通じて、有機栽培面積及び有機農業者の増加を図り、有機農業の生産団地の形成・産地育成を目指しています。

## 4 生産者の取組の支援

- ① 「神石高原有機農業推進協議会」を中心に、毎年ほ場の土壌分析と診断結果に基づく施肥の実施を行います。
- ② 農研機構と連携した町内の有機質資材を活用した堆肥の試作等や「土づくりマニュアル」の作成等の成果を地域で有効活用します。
- ③ 「特定非営利活動法人オーガニック&メディカル七福神」と連携し、学校給食への提供や直売施設での販売を通じ、販路拡大に取り組みます。



直売施設の様子



学校給食への提供



落ち葉堆肥の作成



土壌分析

## 5 生産者の取組紹介

### かたつむりの会

(取組の概要) 平成16年に結成。現在の生産者は4名。環境に優しい農産物を栽培し、福山市、尾道市内の会員(46世帯)に週1回、配送しています。毎年4月にお花見会、11月には尾道健康まつり、地元にて収穫感謝祭を開催し、生産者と消費者のふれあいや、繋がりを大切にしています。

(今後の目標) 新規就農者の確保並びに面積の拡大を目指しています。

(特定区域の設定で変わったこと) 落ち葉堆肥の作成、土壌分析と診断に基づく施肥の実施を行い、有機農業の基本である良質な土作りに取り組んでいます。



かたつむりの会の皆様

## 6 問い合わせ先

広島県農林水産局農業技術課  
神石高原町産業課

TEL: 082-513-3585  
TEL: 0847-89-3337